## 令和6(2024)年度 青森県立保健大学健康科学部 卒業時満足度調査結果報告書

青森県立保健大学 継続的質向上委員会 令和7年5月15日

# 目次

1	調	<u> 査の概要</u> · · · · · · · · · · · · 1	
(	1)	趣旨	
(	2)	アンケート調査の実施概要	
(	3)	調査内容	
(	4)	回収結果	
2	全	<u>:体の調査結果</u> ・・・・・・・・・・・・ 2	2
3	各	学科の調査結果	
(	1)	<u>看護学科</u> ······1	0.
(	2)	理学療法学科・・・・・・・・・1	.7
•	_	社会福祉学科 · · · · · · · · · · · · · · · · · 2	
(	4)	<u>栄養学科</u> · · · · · · · · · · · · · · 3	1

#### 1 調査の概要

#### (1) 趣旨

- 本学学生の大学生活に対する満足度の現状を把握する。
- 現状の問題点を把握し、その改善・解決に向けて各種委員会などで活用されるべき基礎資料を得る。
- (2) アンケート調査の実施概要
  - ア実施主体 継続的質向上委員会
  - イ実施対象 令和6年度 健康科学部4年生(卒業生) 227名
  - ウ調査期間 令和6年12月6日から令和7年3月6日
- (3) 調査内容
  - I カリキュラム・教育・指導に対する評価
  - 1) ディプロマ・ポリシー評価
  - 2) カリキュラム・ポリシー評価 II キャリア支援に対する評価

  - Ⅲ 学習意欲について
  - IV 課外活動支援に対する評価
  - V 大学の施設・設備に対する評価
  - VI 事務手続きに対する評価
  - VII 心身面での支援に対する評価
  - Ⅷ 経済的な事柄に対する評価
  - IX 新型コロナウイルス感染症対応に対する評価
  - X 大学に対する全体的な評価

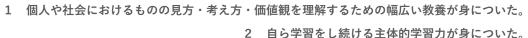
#### (4) 回収結果

	対象者	回収数	回収率
看護学科	112	108	96.4%
理学療法学科	30	30	100.0%
社会福祉学科	53	46	86.8%
栄養学科	32	22	68.8%
全体	227	206	90.7%

### 2 全体の調査結果

- I カリキュラム・教育・指導に対する評価
- 1) ディプロマ・ポリシー評価 (4段階評価) N=206





3 自分の考えや気持ちを適切に表現し相手に伝える能力が習得できた。

4 英語を活用する能力が身についた。

5 専門的知識が習得できた。

6 専門的技術が習得できた。

7 人間の尊厳を理解し、人権を尊重できる倫理的態度が身についた。

8 将来の自己像を描くことに有効な知識や技能が身についた。

9 課題に対して必要な情報を収集し、原因を分析し、理論的に解決する力が習得できた。

10 「研究する」ことへの興味を持つことができた。

11 研究で実証された結果を実践に活用する能力が身についた。

12 論理的批判的能力であるクリティカルシンキングが身についた。

13 自らが健康になるための知識や技術が身についた。

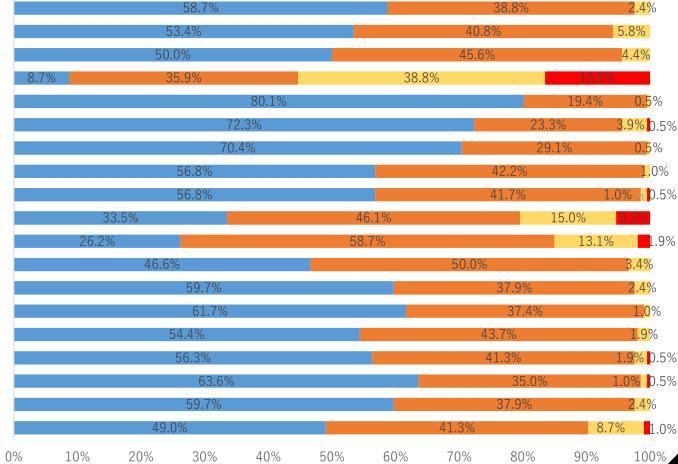
14 人々が健康に暮らすための意思決定を支援できる能力が身についた。

**l5 地域と、そこに暮らす人々の実際の健康上の課題に基づいた援助方法が探究できた。** 

6 地域住民のヘルスリテラシー(人々の健やか力) 向上に活用できる能力が習得できた。

17 対象を中心として他職種が協働してケアを実践する能力が習得できた。

18 多職種グループが目的に向かって円滑に進めるためのメンバーシップが獲得できた。



関連リンク: 本学のディプロマ・ポリシー



4.4%

1.9%

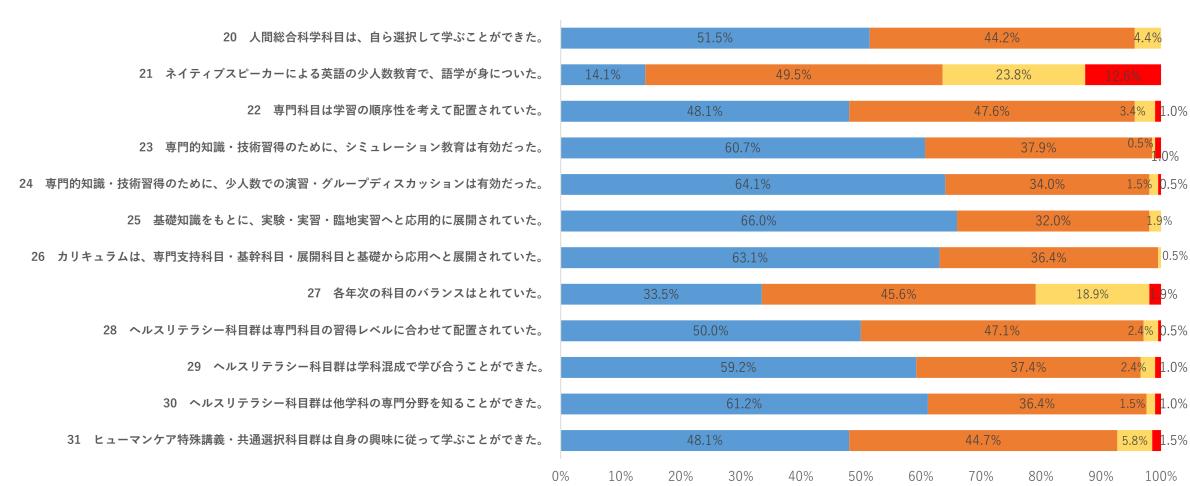
0.5%

1.9%

100%

#### カリキュラム・教育・指導に対する評価 2) カリキュラム・ポリシー評価(4段階評価) N = 206

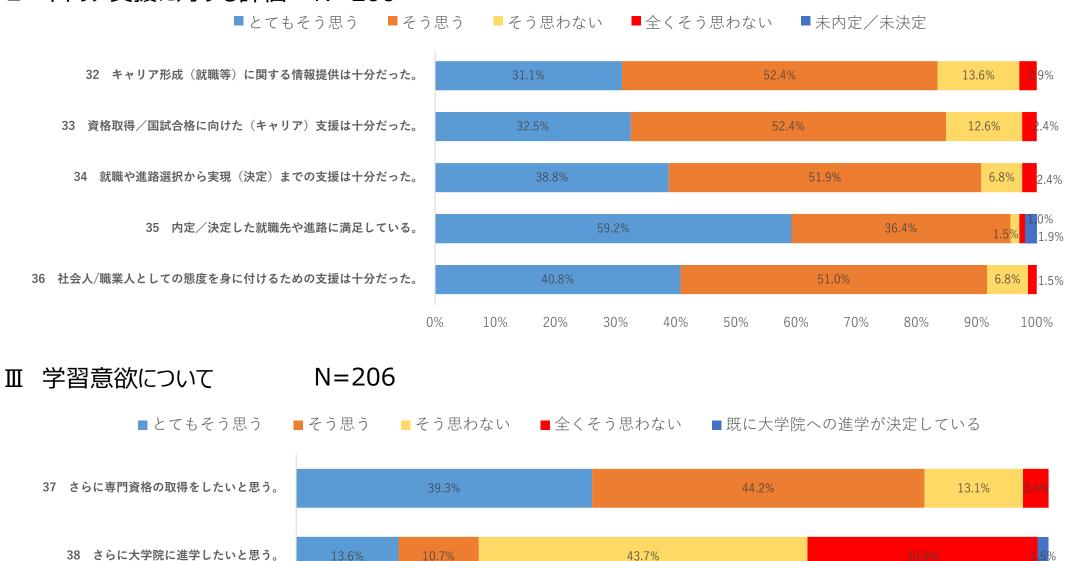




関連リンク:本学のカリキュラム・ポリシー



### Ⅱ キャリア支援に対する評価 N=206



30%

20%

40%

50%

60%

70%

10%

関連リンク: 学生のキャリア支援

目次へ

100%

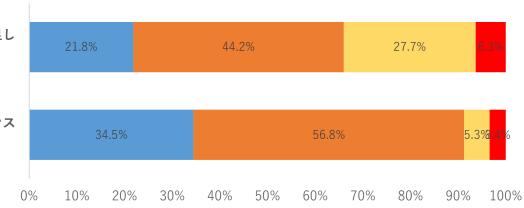
90%

80%

### IV 課外活動支援に対する評価 N=206



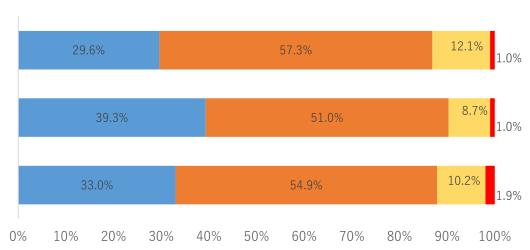
- 39 課外活動(サークル、ボランティア、学生自治会活動等)の支援に満足している。
  - 40 学年ごとに実施した全学科共通行事(オリエンテーション、ガイダンス 等)は役立った。



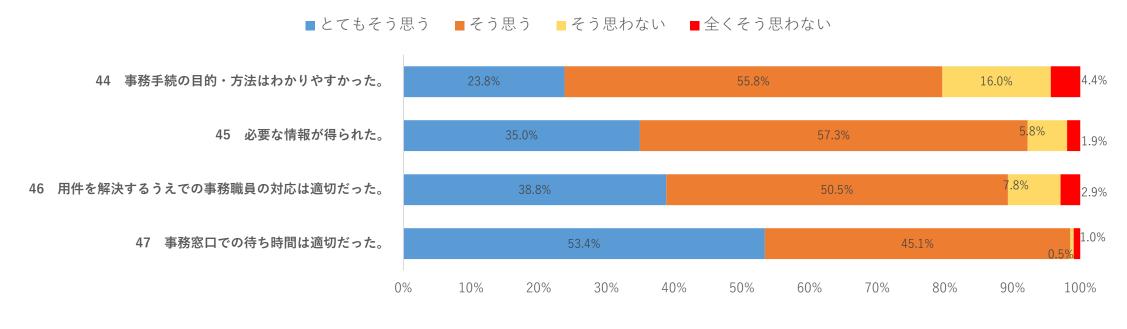
### V 大学の施設・設備に対する評価 N=206



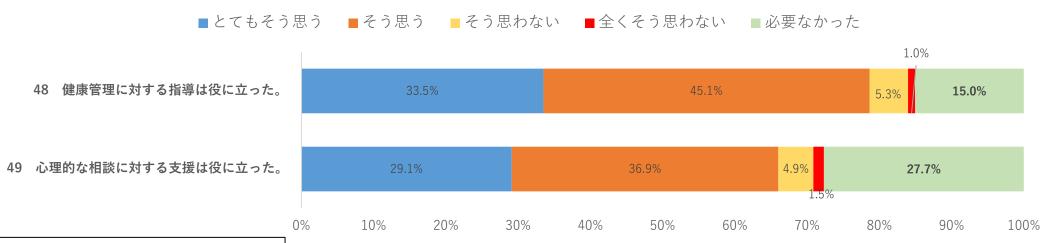
- 41 学科使用の施設・設備 (講義室、実習室、演習室等) は使いやすかった。
  - 42 図書館及び情報施設・設備は使いやすかった。
    - 43 その他、共用施設・設備は使いやすかった。







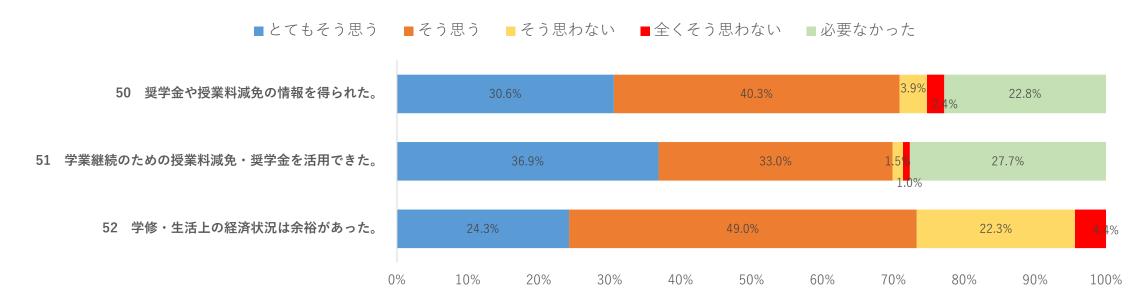
### VII 心身面での支援に対する評価 N=206



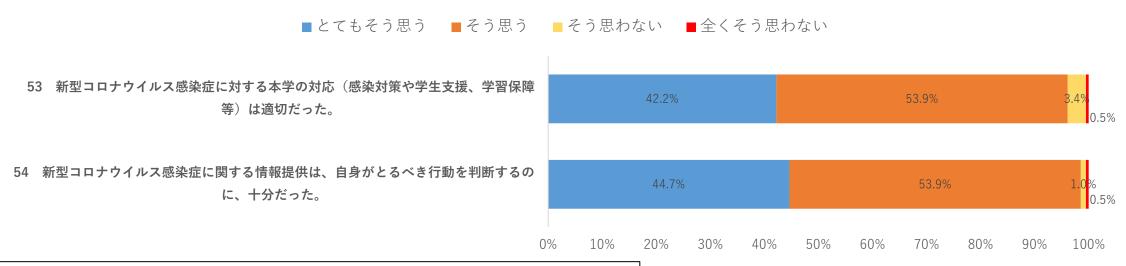
関連リンク: 学生生活支援体制



### Ⅷ 経済的な事柄に対する評価 N=206



### IX 新型コロナウイルス感染症対策に対する評価 N=206

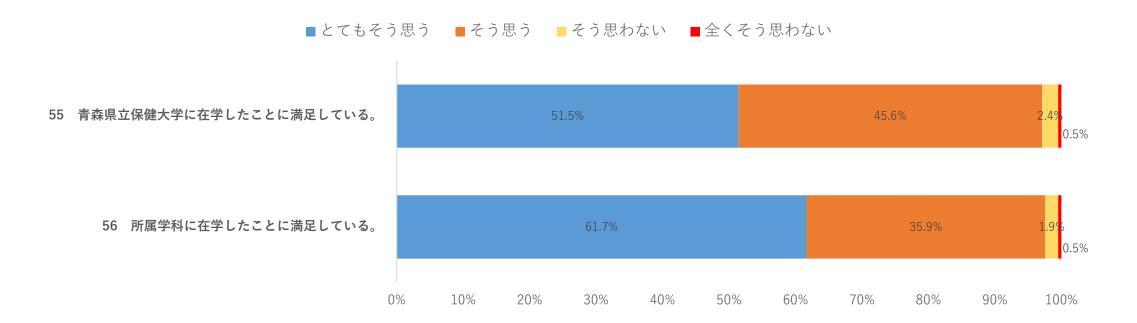


関連リンク: ① 奨学金、② 授業料・減免、③ 新型コロナウイルス感染症対策



Ⅷ 大学に対する全体的な評価

N = 206



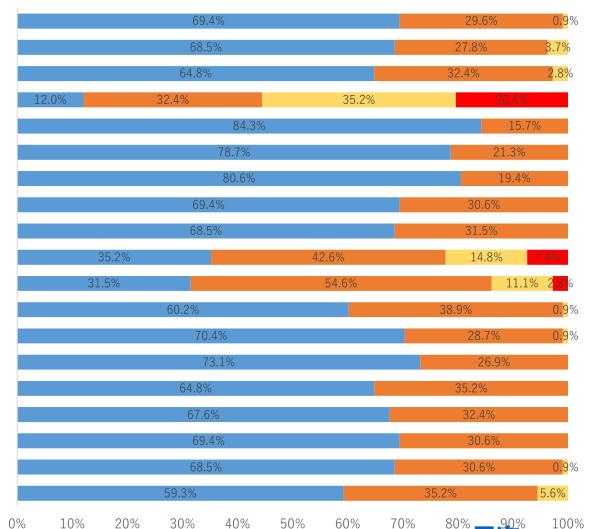
## くその他 学生の自由記述について>

いただいた様々なご意見は、継続的質向上委員会でしっかり受け止め、大学教育研究及び運営の改善に役立てていきたいと思います。

### (1) 看護学科

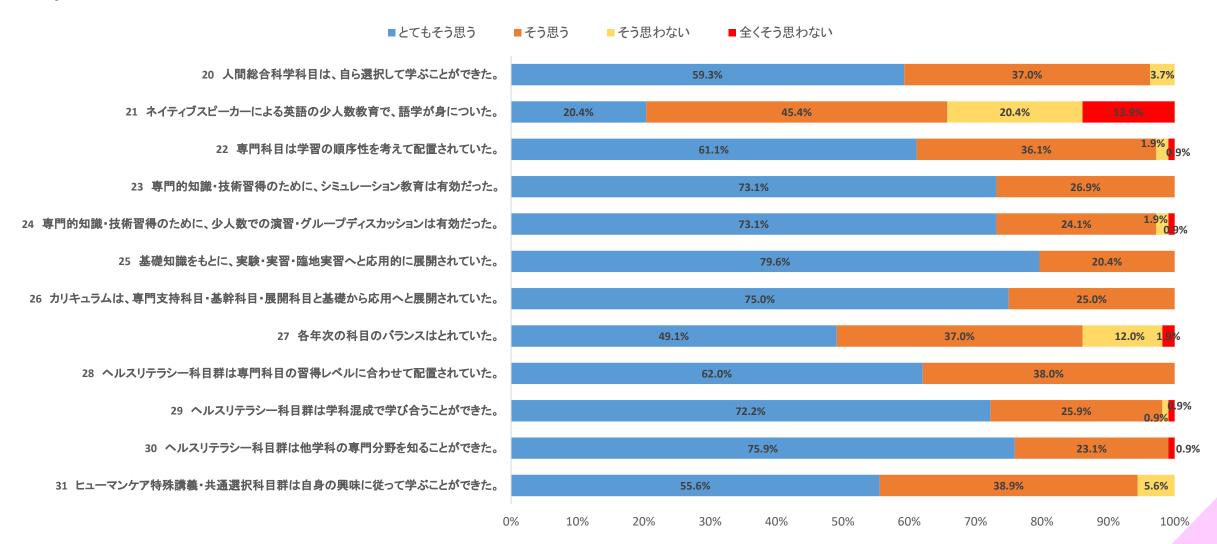
- カリキュラム・教育・指導に対する評価 1) ディプロマ・ポリシー評価(4段階評価)
  - N = 108
  - ■とてもそう思う

- ■そう思う ■そう思わない ■全くそう思わない
- 1 個人や社会におけるものの見方・考え方・価値観を理解するための幅広い教養が身についた。
  - 2 自ら学習をし続ける主体的学習力が身についた。
  - 3 自分の考えや気持ちを適切に表現し相手に伝える能力が習得できた。
    - 4 英語を活用する能力が身についた。
      - 5 専門的知識が習得できた。
      - 6 専門的技術が習得できた。
  - 7 人間の尊厳を理解し、人権を尊重できる倫理的態度が身についた。
    - 8 将来の自己像を描くことに有効な知識や技能が身についた。
  - 課題に対して必要な情報を収集し、原因を分析し、理論的に解決する力が習得できた。
    - 10 「研究する」ことへの興味を持つことができた。
    - 11 研究で実証された結果を実践に活用する能力が身についた。
    - 12 論理的批判的能力であるクリティカルシンキングが身についた。
      - 13 自らが健康になるための知識や技術が身についた。
    - 14 人々が健康に暮らすための意思決定を支援できる能力が身についた。
  - 15 地域と、そこに暮らす人々の実際の健康上の課題に基づいた援助方法が探究できた。
  - 16 地域住民のヘルスリテラシー(人々の健やか力)向上に活用できる能力が習得できた。
    - 17 対象を中心として他職種が協働してケアを実践する能力が習得できた。
  - 18 多職種グループが目的に向かって円滑に進めるためのメンバーシップが獲得できた。
  - 19 多職種グループが目的に向かって円滑に進めるためのリーダーシップが獲得できた。



## I カリキュラム・教育・指導に対する評価2)カリキュラム・ポリシー評価(4段階評価)

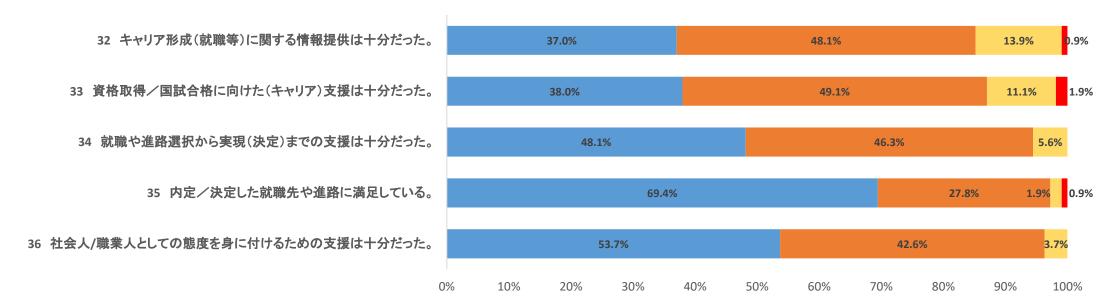
N = 108





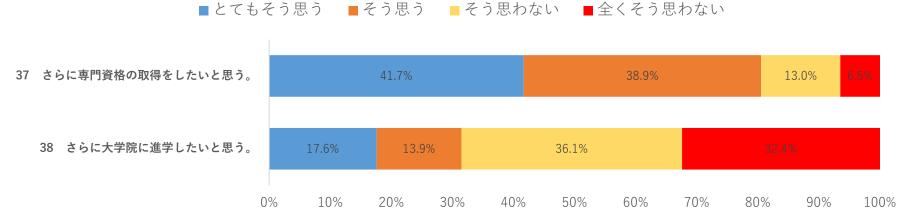
### Ⅱ キャリア支援に対する評価 N=108

■とてもそう思う ■そう思う ■そう思わない ■全くそう思わない

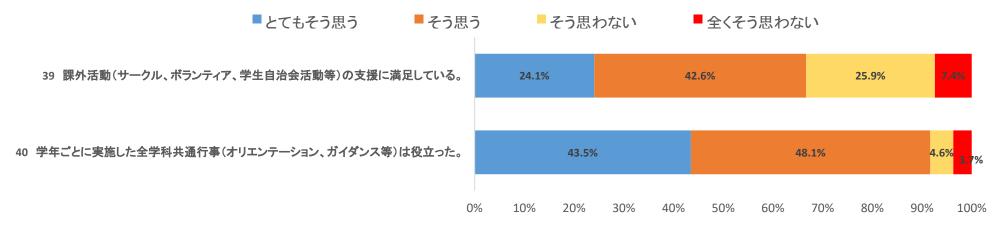


Ⅲ 学習意欲について

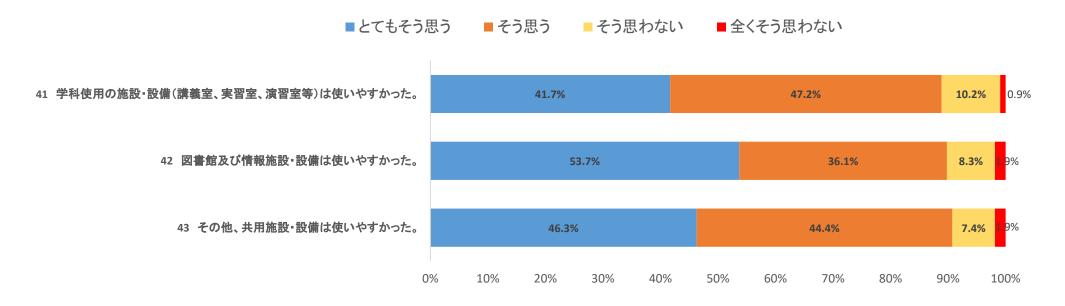
N = 108



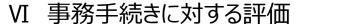
### IV 課外活動支援に対する評価 N=108



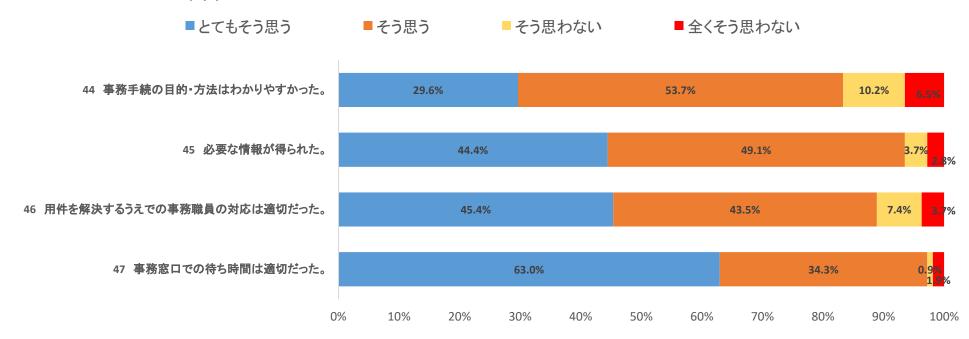
### V 大学の施設・設備に対する評価 N=108



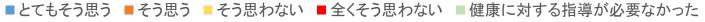


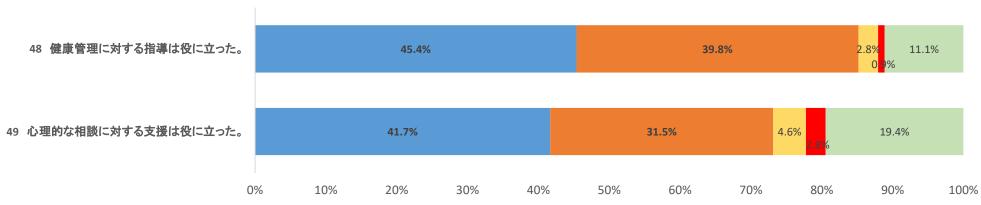






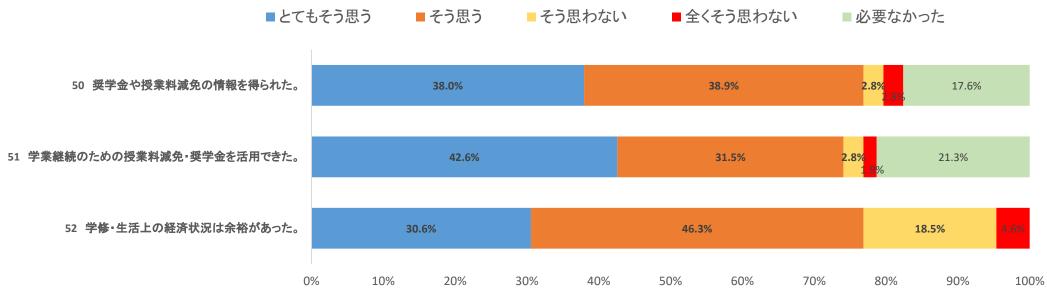
### VII 心身面での支援に対する評価 N=108



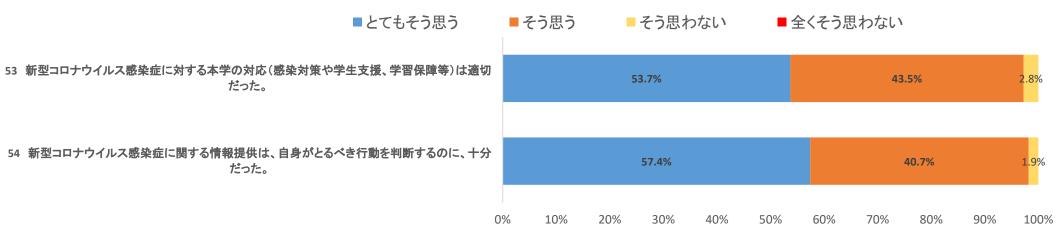


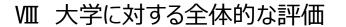


### Ⅷ 経済的な事柄に対する評価 N=108

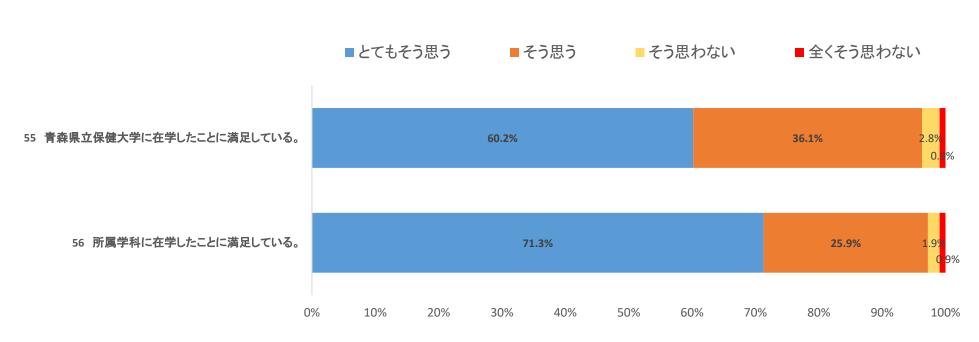


### IX 新型コロナウイルス感染症対策に対する評価 N=108









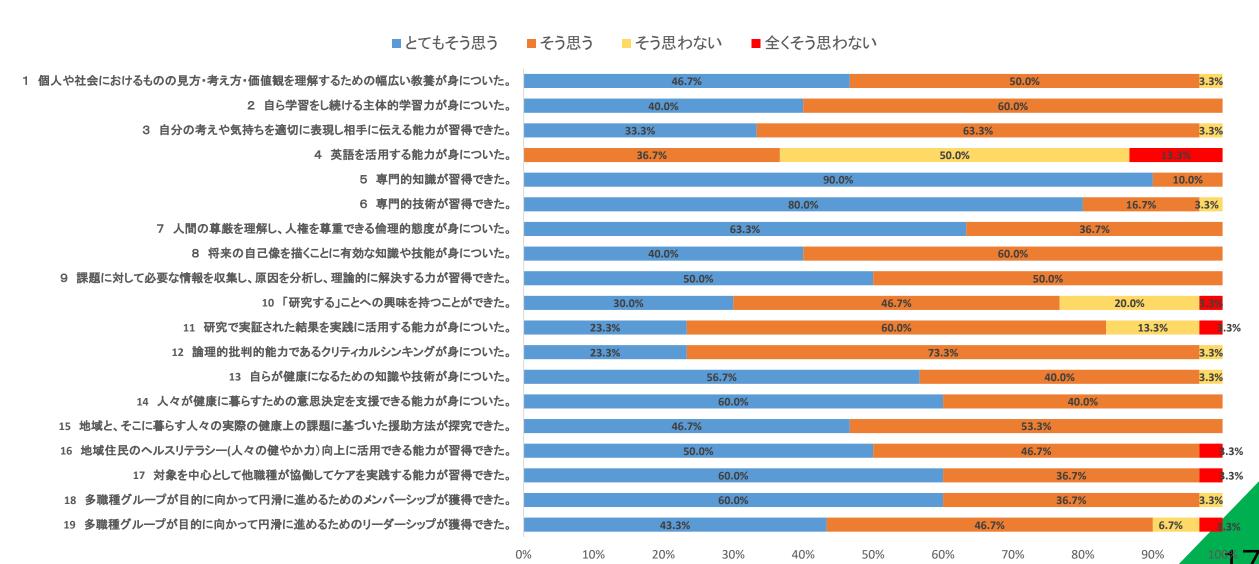


目次へ

### (2) 理学療法学科

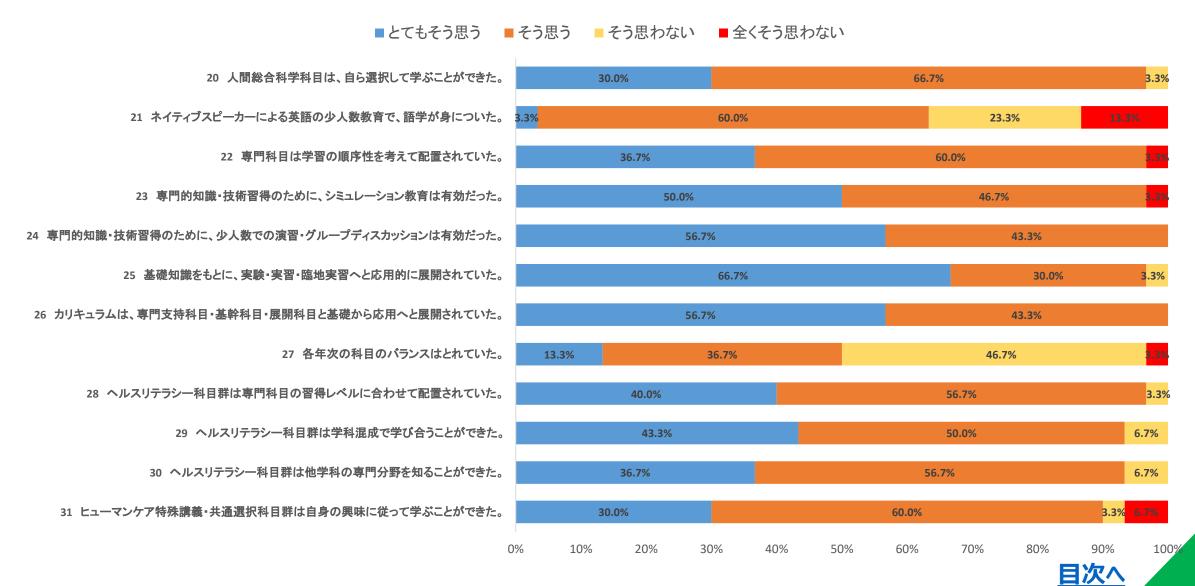
I カリキュラム・教育・指導に対する評価 1) ディプロマ・ポリシー評価(4段階評価)

N = 30

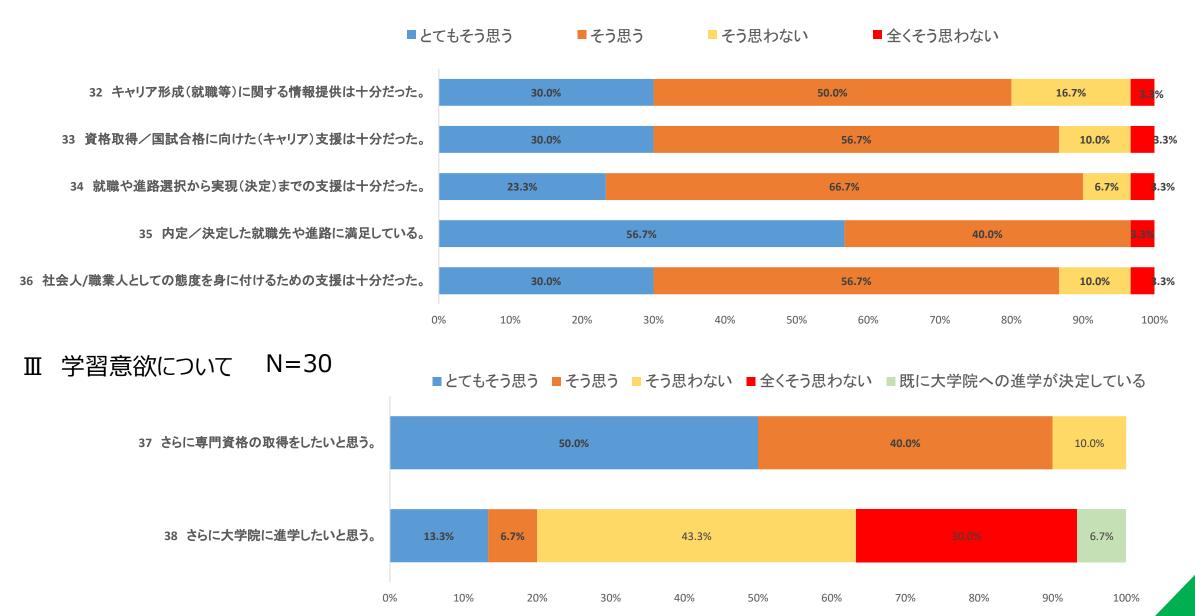


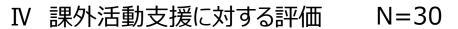
## I カリキュラム・教育・指導に対する評価2)カリキュラム・ポリシー評価(4段階評価)

N = 30



### I キャリア支援に対する評価 N=30

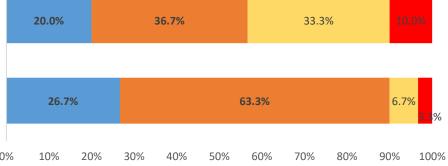




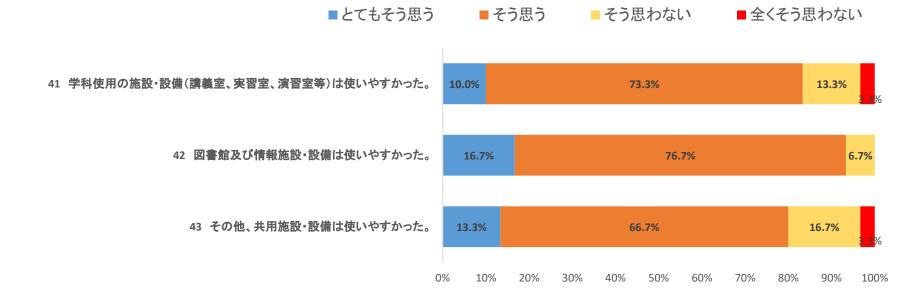
■とてもそう思う ■そう思う ■そう思わない ■全くそう思わない

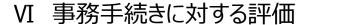
39 課外活動(サークル、ボランティア、学生自治会活動等)の支援に満足している。

40 学年ごとに実施した全学科共通行事(オリエンテーション、ガイダンス等)は役立った。

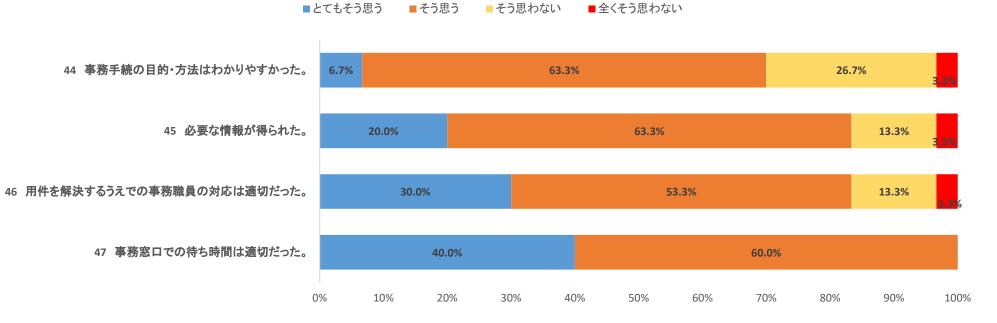


### V 大学の施設・設備に対する評価 N=30



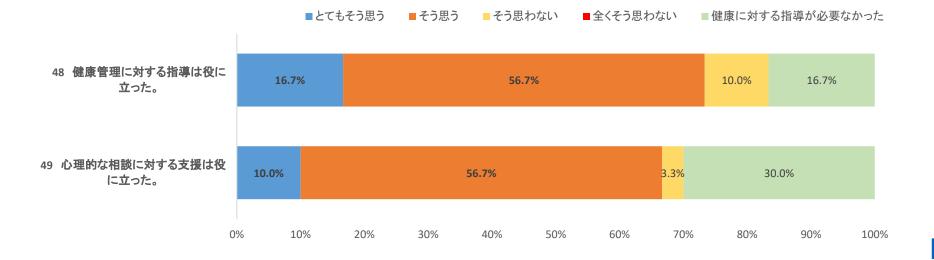






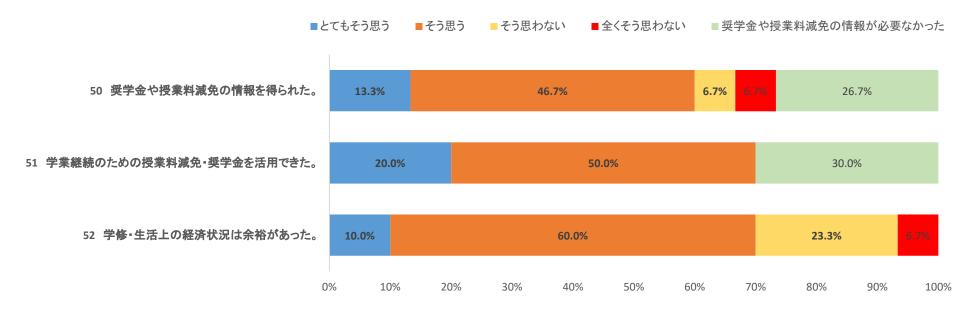
### VII 心身面での支援に対する評価

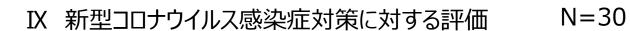


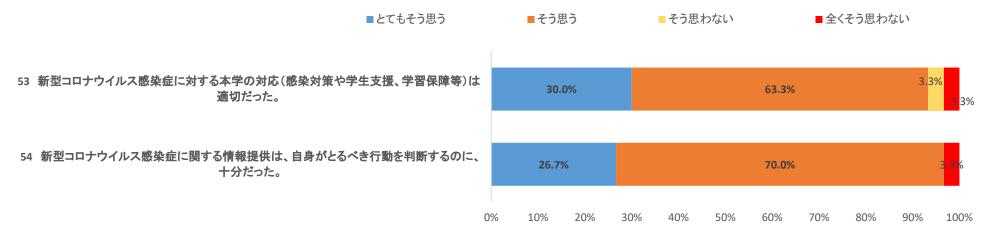




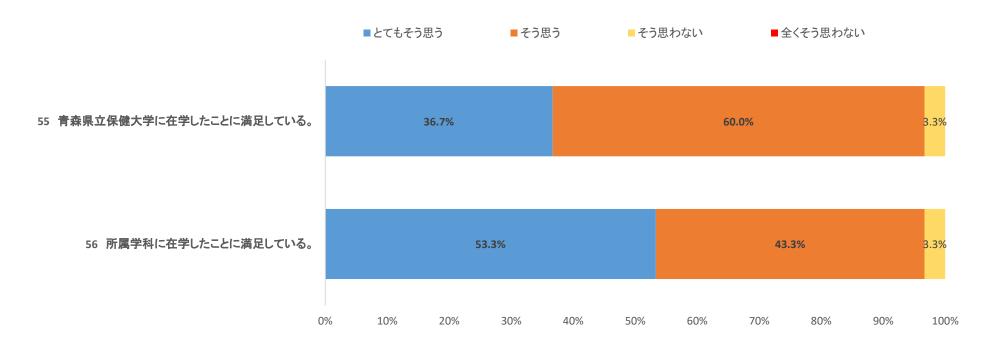
### VⅢ 経済的な事柄に対する評価 N=30





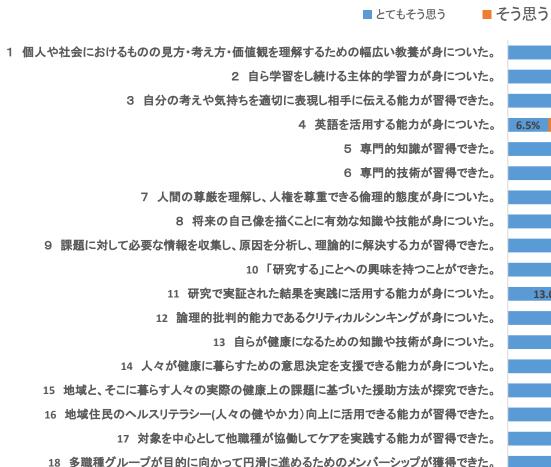


### Ⅷ 大学に対する全体的な評価 N=30

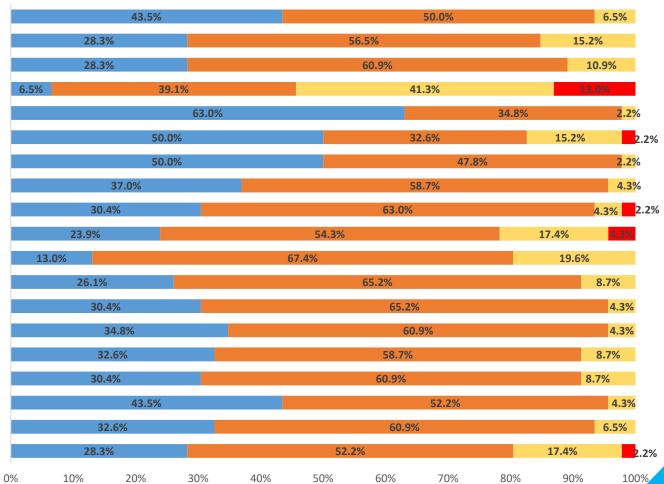


### (3) 社会福祉学科

I カリキュラム・教育・指導に対する評価 1) ディプロマ・ポリシー評価(4段階評価) N=46



19 多職種グループが目的に向かって円滑に進めるためのリーダーシップが獲得できた。



そう思わない

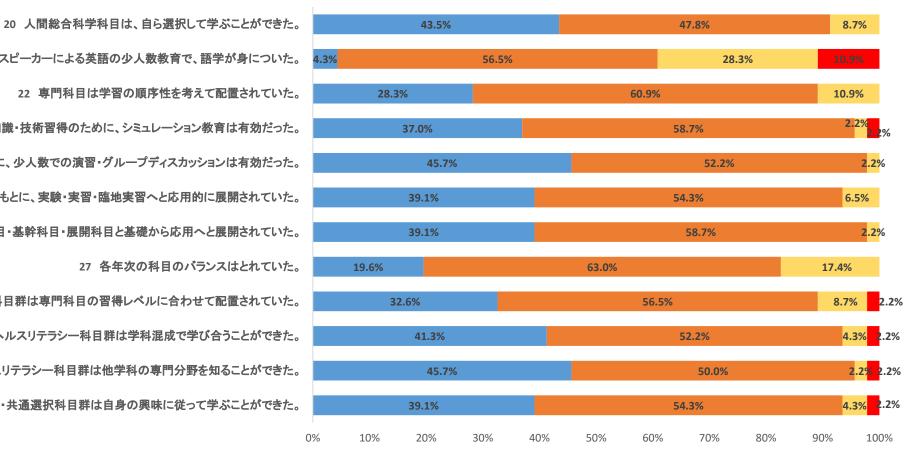
■全くそう思わない

目次へ

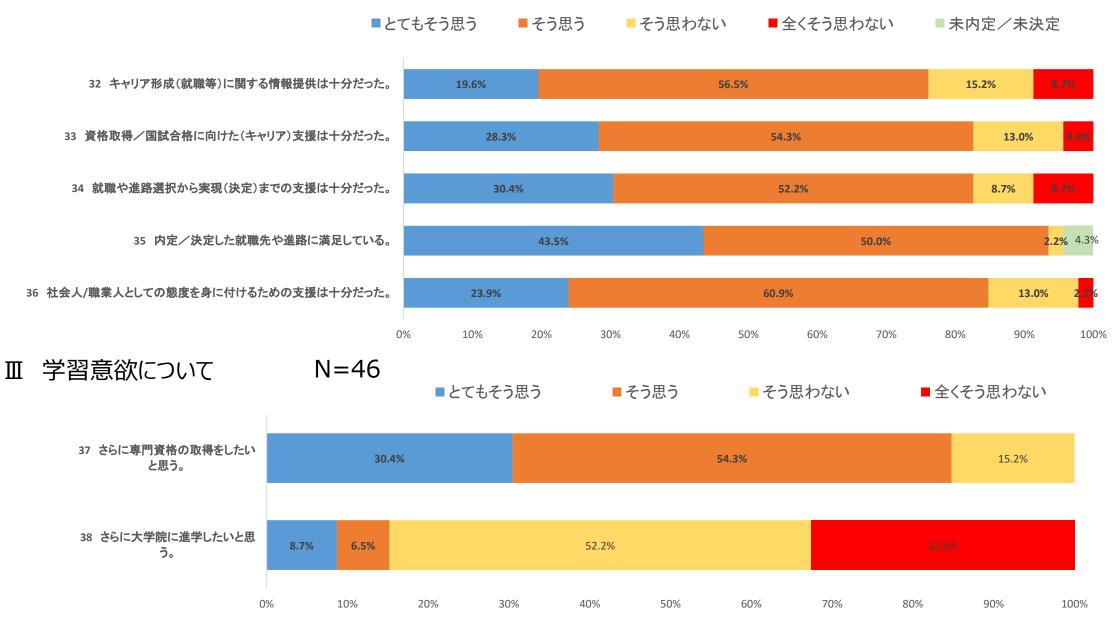
#### I カリキュラム・教育・指導に対する評価 2) カリキュラム・ポリシー評価(4段階評価) N = 46

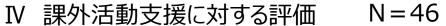
■とてもそう思う ■そう思う ■そう思わない ■全くそう思わない

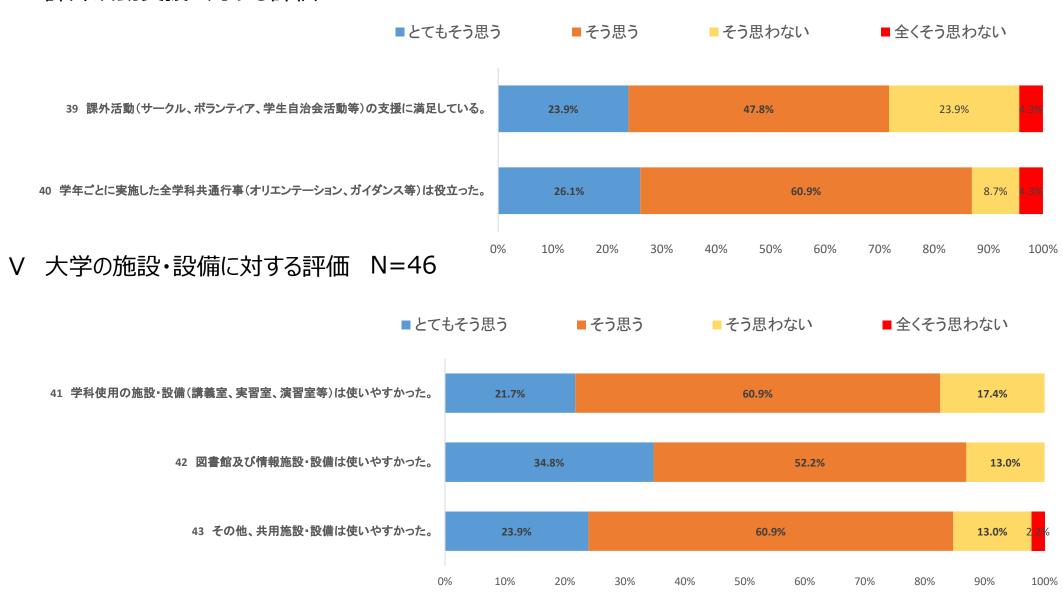
21 ネイティブスピーカーによる英語の少人数教育で、語学が身についた。 22 専門科目は学習の順序性を考えて配置されていた。 23 専門的知識・技術習得のために、シミュレーション教育は有効だった。 24 専門的知識・技術習得のために、少人数での演習・グループディスカッションは有効だった。 25 基礎知識をもとに、実験・実習・臨地実習へと応用的に展開されていた。 26 カリキュラムは、専門支持科目・基幹科目・展開科目と基礎から応用へと展開されていた。 27 各年次の科目のバランスはとれていた。 28 ヘルスリテラシー科目群は専門科目の習得レベルに合わせて配置されていた。 29 ヘルスリテラシー科目群は学科混成で学び合うことができた。 30 ヘルスリテラシー科目群は他学科の専門分野を知ることができた。 31 ヒューマンケア特殊講義・共通選択科目群は自身の興味に従って学ぶことができた。



### II キャリア支援に対する評価 N=46



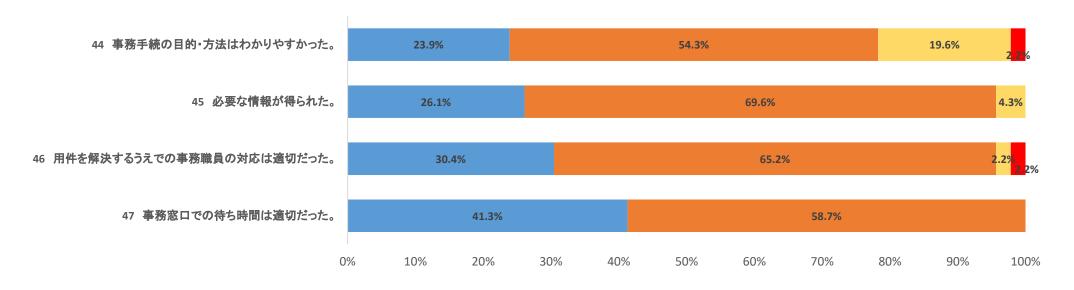




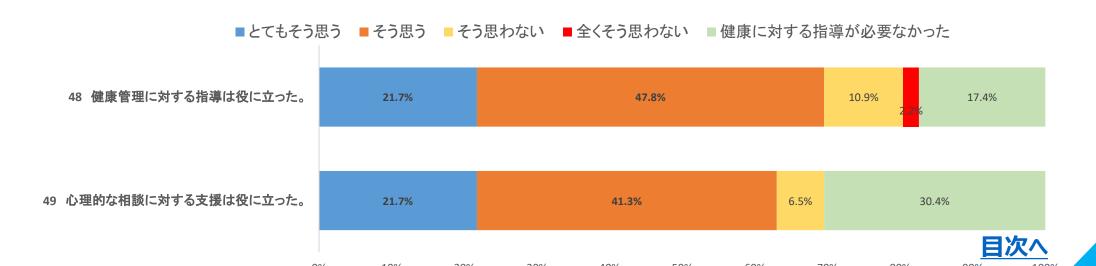
VI 事務手続きに対する評価

N = 46

■とてもそう思う ■ そう思う ■ そう思わない ■ 全くそう思わない

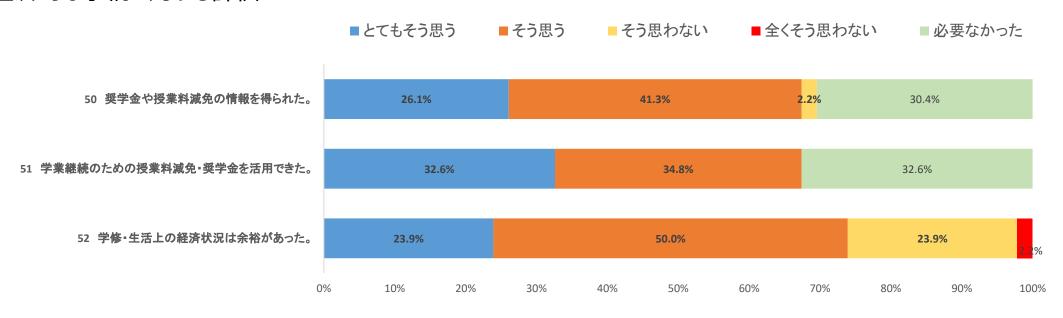


### VII 心身面での支援に対する評価 N=46

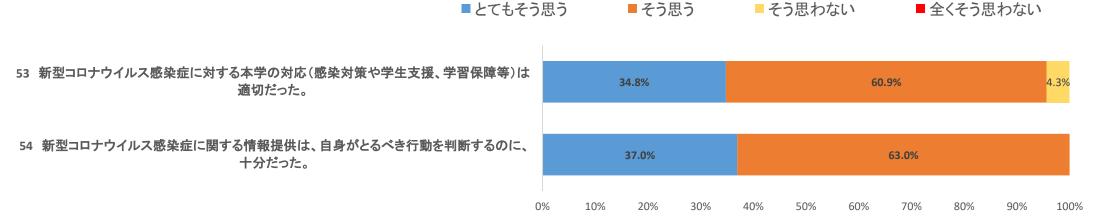


Ⅷ 経済的な事柄に対する評価

N = 46

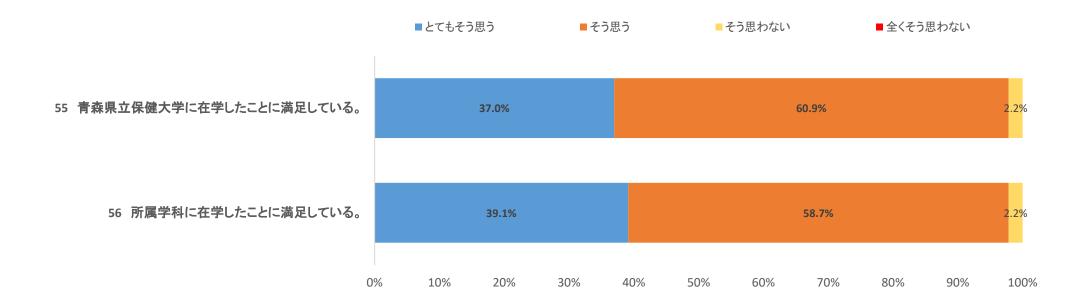


### IX 新型コロナウイルス感染症対策に対する評価 N=46



VIII 大学に対する全体的な評価 N

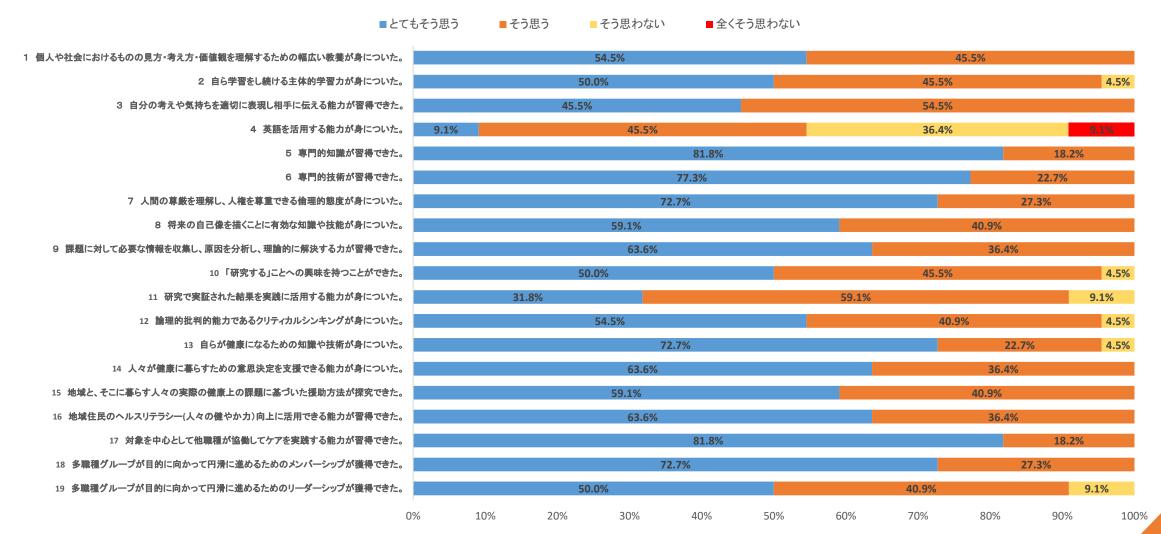






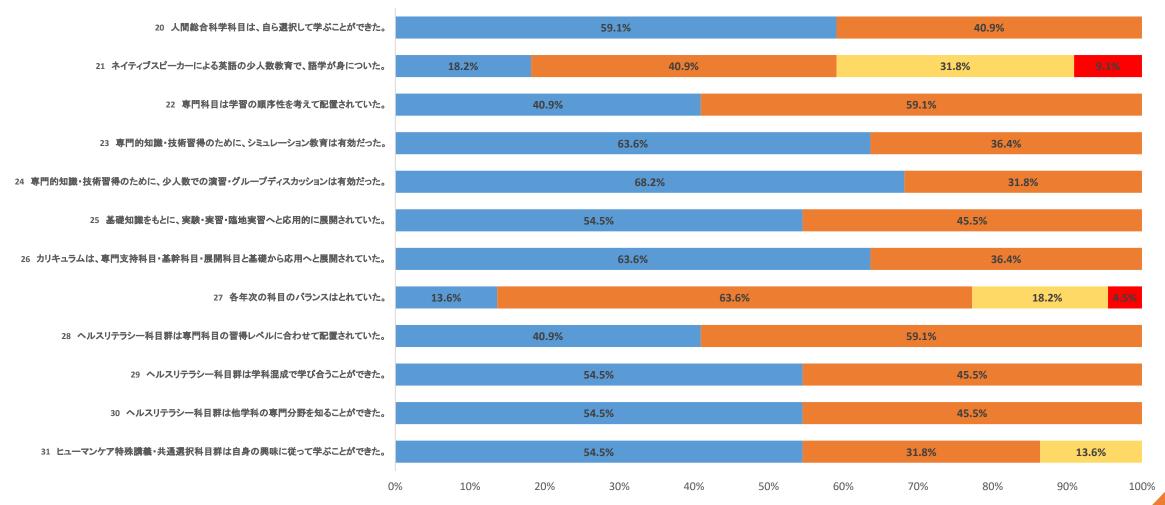
### (4) 栄養学科

I カリキュラム・教育・指導に対する評価 1) ディプロマ・ポリシー評価(4段階評価) N=22

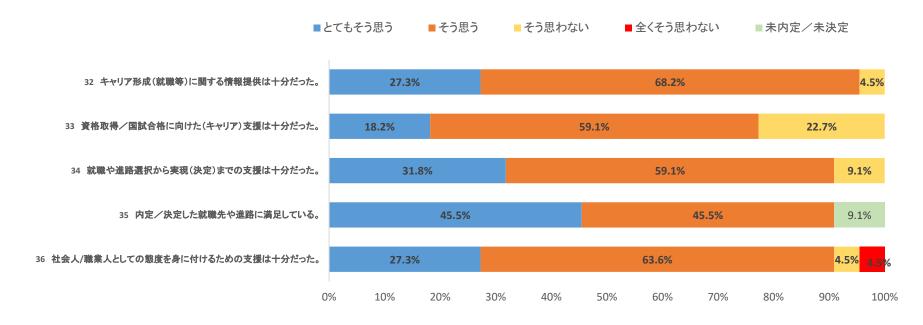


## I カリキュラム・教育・指導に対する評価2)カリキュラム・ポリシー評価(4段階評価) N=22



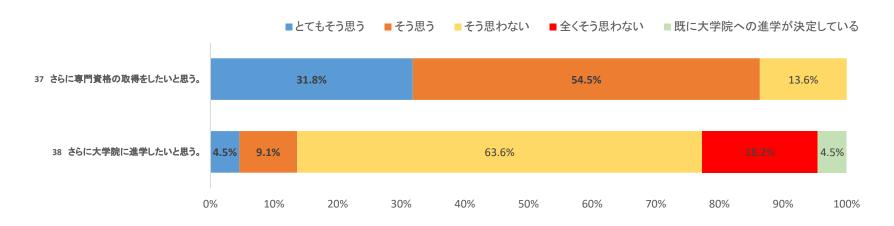


### Ⅱ キャリア支援に対する評価 N=22



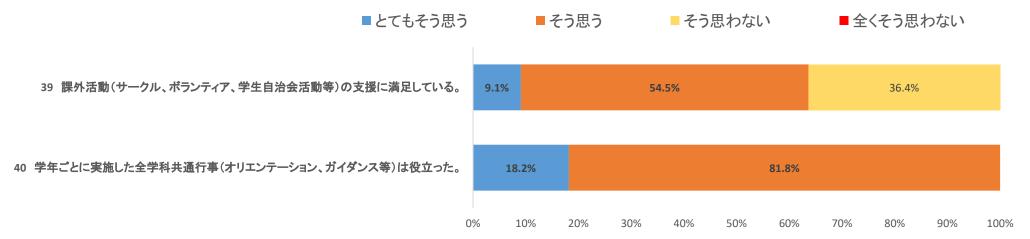
### Ⅲ 学習意欲について



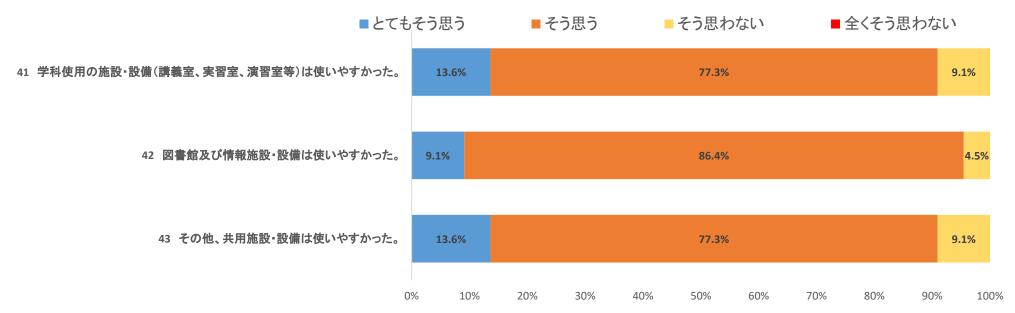




### IV 課外活動支援に対する評価 N=22

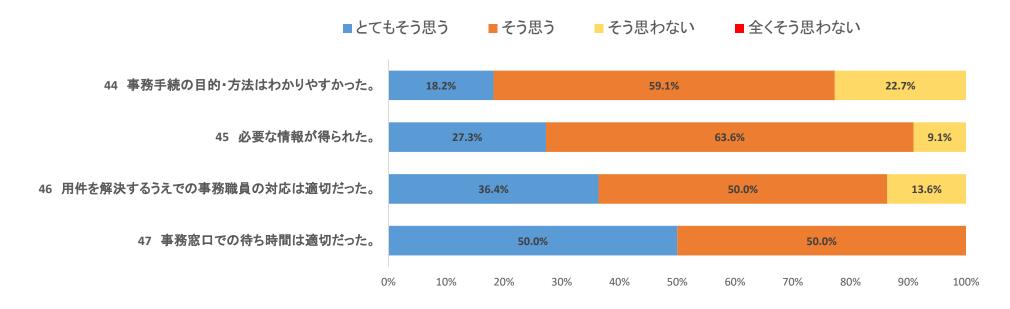


### V 大学の施設・設備に対する評価 N=22

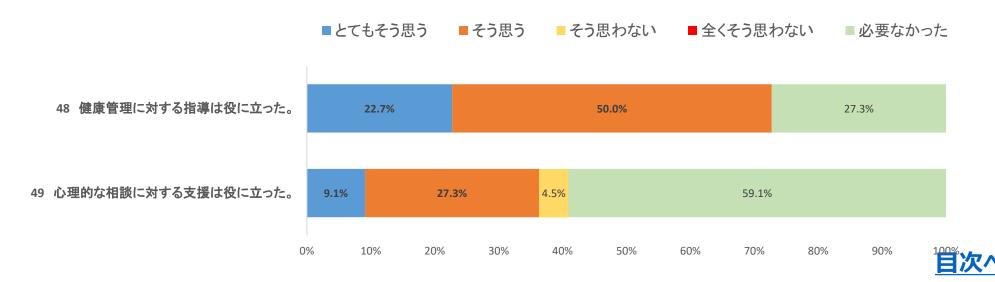


VI 事務手続きに対する評価

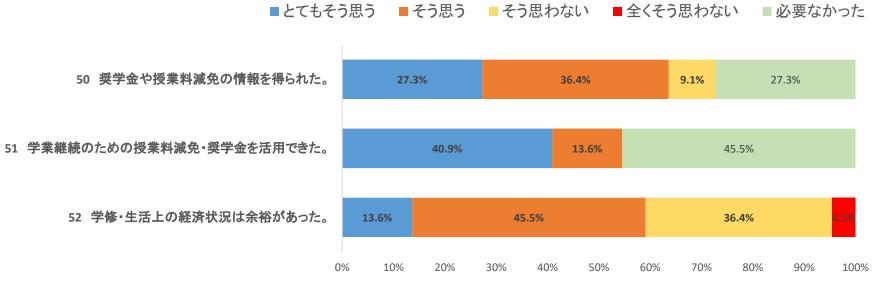
N = 22



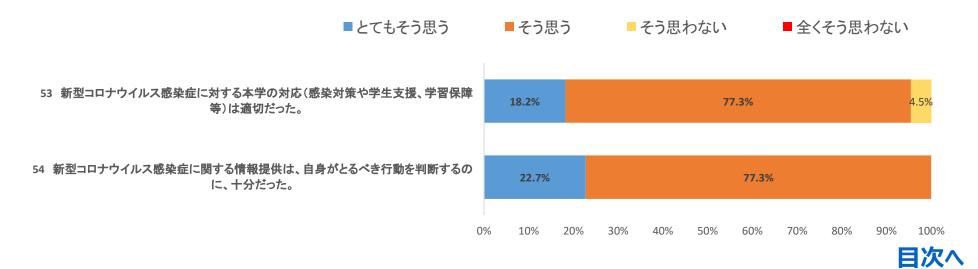
### VII 心身面での支援に対する評価 N=22



### Ⅷ 経済的な事柄に対する評価 N=22



### IX 新型コロナウイルス感染症対策に対する評価 N=22



36

